



令和4年6月29日
帯広開発建設部

オビヒロホコテンに災害対策用機械出動！

～災害対策用機械を展示し開発事業をPR～

帯広開発建設部では、災害対策用機械の災害時における役割などについて知ってもらうため、3年振りに帯広市で開催されているオビヒロホコテンにおいて、衛星通信車と対策本部車の展示を行いますので、下記のとおりお知らせいたします。

オビヒロホコテンは、市民有志ボランティアからなる帯広まちなか歩行者天国実行委員会が主催するイベントで、2006年に「まちなかに交流とにぎわいを」の目的からスタートしました。開催期間中(令和4年度は6月19日～9月11日)の日曜日(8月14日を除く)に帯広市内の中心市街地の道路空間を活用した歩行者天国を開催し、様々な催し物が行われています。

記

- 1 日 時：令和4年7月3日(日) 11:00～16:00
- 2 場 所：帯広市西2条南8丁目(別紙1参照)
- 3 内 容：災害対策用機械の展示(別紙2参照：衛星通信車、対策本部車各1台)
北海道開発局の事業を紹介するパネルの展示
- 4 その他：衛星通信車に搭載されているカメラのリモコン操作体験や対策本部車の車内見学ができます。
天候などにより、中止することがあります。

【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 帯広開発建設部

防災課長 山本 裕之(電話番号 0155-24-3194)

地域振興対策官 田中 邦彦(電話番号 0155-24-3195)

帯広開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/ob/>





※オビヒロホコテンでは4カ所の協力駐車場があります。詳細はオビヒロホコテンHPをご覧ください。

(<https://www.hokoten.net/>)

※平原通り南8丁目・9丁目、広小路1・2区、南8丁目線藤丸南側はイベント開催日の9時30分から17時まで通行止めとなっていますのでご注意ください。

機 械 概 要



衛星通信設備を搭載しており、現地における通信確保及び車載カメラによる情報収集等、発災現場における情報通信の中心となる機械です。

●機械の主要諸元 (例)

- 全長 : 6.2 m
- 全幅 : 2.2 m
- 全高 : 3.0 m
- 重量 : 6.4 t

衛星通信設備を利用することにより不感地帯がほとんど無く、開発局・各開発建設部及び地方自治体等の衛星受信設備を持つ施設に送信することが可能です。

全道配備台数 : 5台 (R4.4月現在)

活 動 の 様 子



H30.9
胆振東部地震による出動(厚真町幌内橋)



H25.4 一般国道230号
大雨による地盤変状による出動(札幌市)

対策本部車

機 械 概 要



対策本部車は、災害発生時に速やかに出動し、現地における応急対策の指揮・連絡、情報収集及び伝達を担う現地対策本部機能を確保するための災害対策用機械です。

●機械の主要諸元 (例)

- 全長 : 8.2 m
- 全幅 : 2.4 m (拡幅時5.2 m)
- 全高 : 3.8 m
- 重量 : 9.5 t

車輛後部を拡幅させることにより、現地対策本部に必要なスペースの確保が可能です。

また、各種情報通信機器が搭載されており、場所を問わず情報収集・連絡が可能です。

全道配備台数 : 3台 (R4.4月現在)

活 動 の 様 子



H18.11
突風災害による出動(佐呂間町)



H13.10 一般国道333号
北見市北陽土砂崩落による出動(北見市)